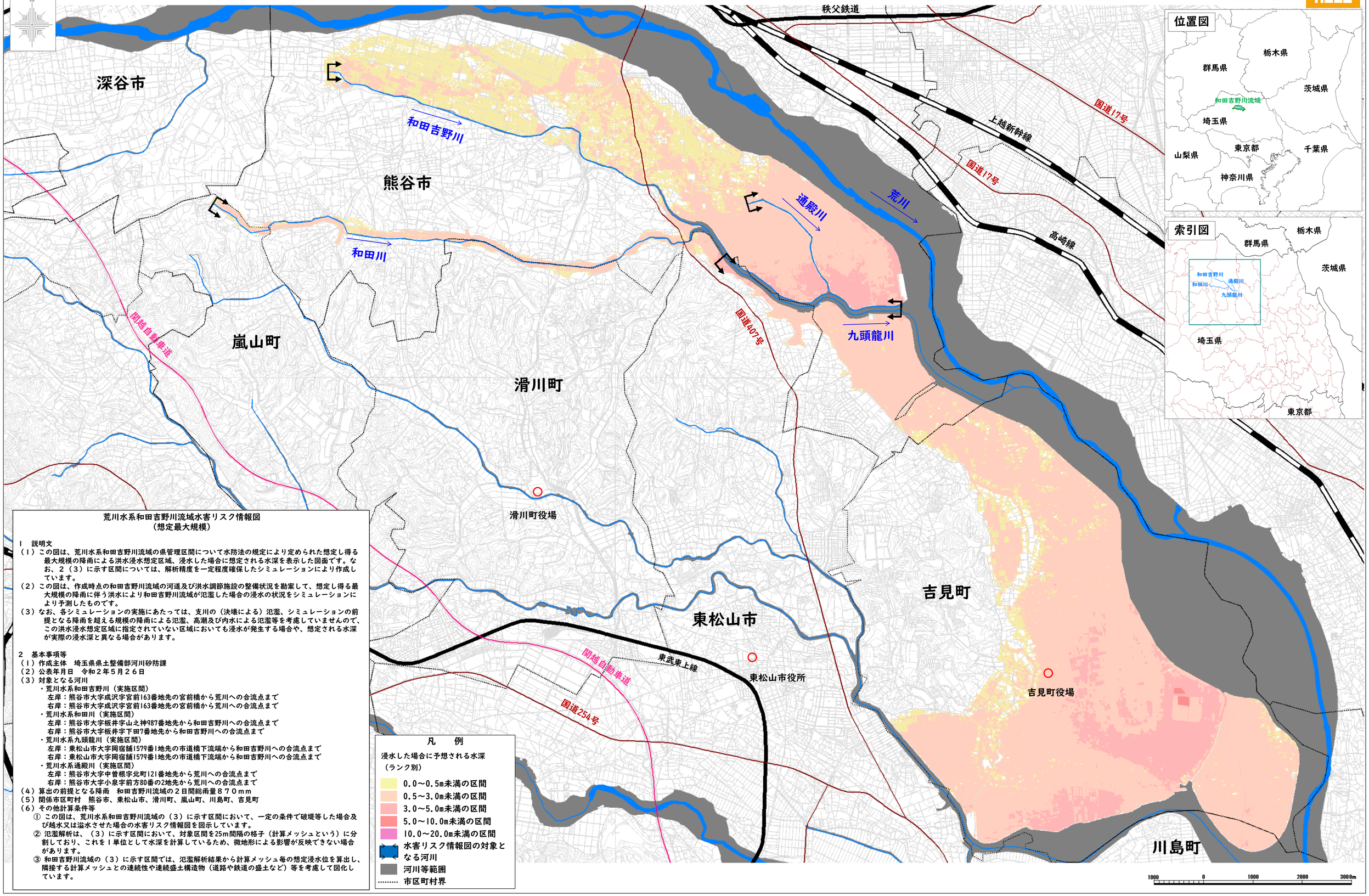
荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図（想定最大規模）



荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図
（想定最大規模）

1　説明文

（1）この図は、荒川水系和田吉野川流域の県管理区間について水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、2（3）に示す区間については、解析精度を一定程度確保したシミュレーションにより作成しています。

（2）この図は、作成時点の和田吉野川流域の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により和田吉野川流域が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　埼玉県県土整備部河川砂防課

（2）公表年月日　令和２年５月２６日

（3）対象となる河川

・荒川水系和田吉野川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで

・荒川水系和田川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字板井字山之神987番地先から和田吉野川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字板井字下田7番地先から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系九頭龍川（実施区間）
　左岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで
　右岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系通殿川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字中曽根字北町121番地先から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字小泉字前方80番の2地先から荒川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　和田吉野川流域の２日間総雨量８７０ｍｍ

（5）関係市区町村　熊谷市、東松山市、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町

（6）その他計算条件等

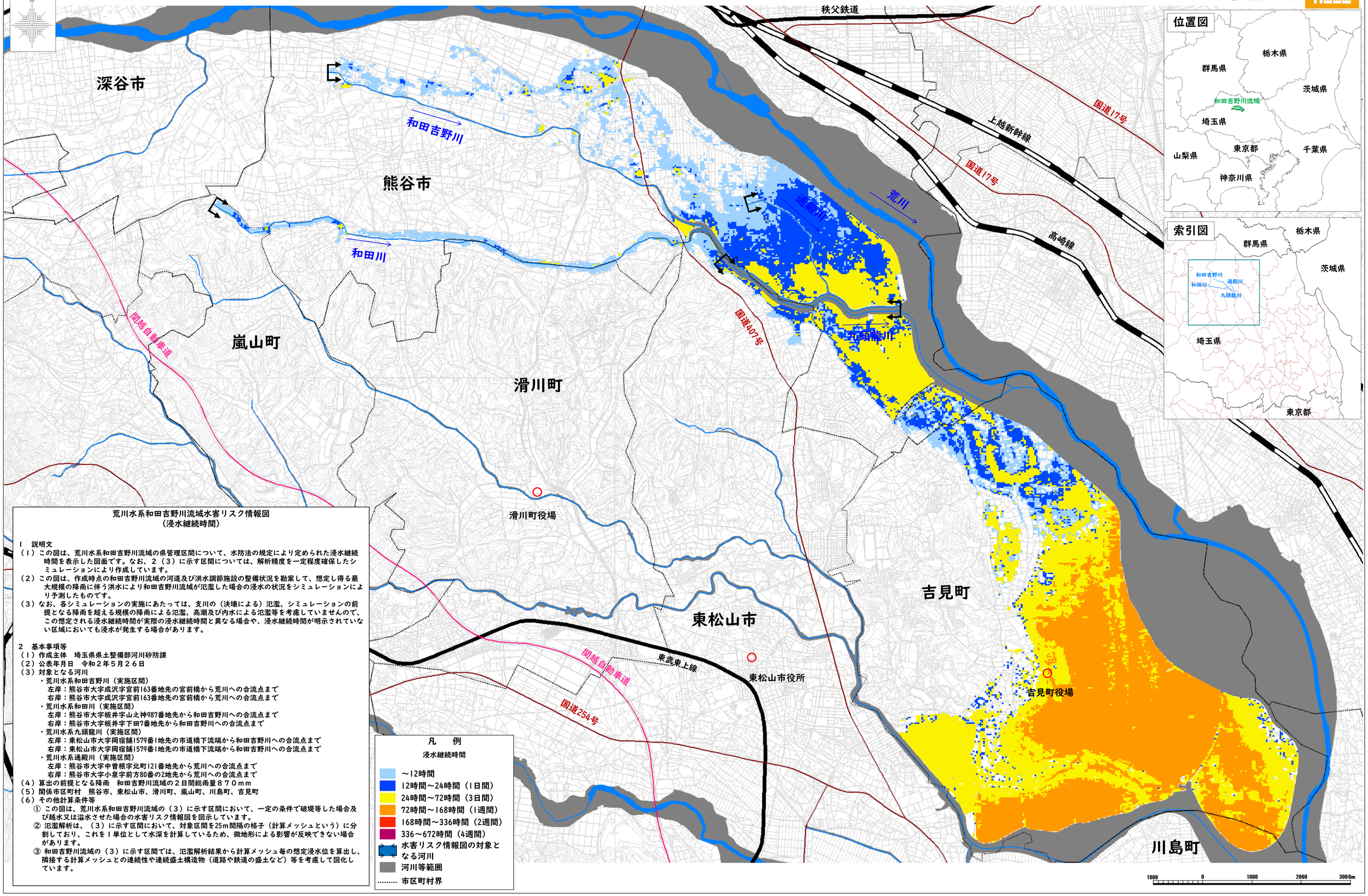
① この図は、荒川水系和田吉野川流域の（3）に示す区間において、一定の条件で破堤等した場合及び越水又は溢水させた場合の水害リスク情報図を図示しています。

② 氾濫解析は、（3）に示す区間において、対象区間を25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割しており、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 和田吉野川流域の（3）に示す区間では、氾濫解析結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 60）

荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図（浸水継続時間）



荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図
（浸水継続時間）

1　説明文

（1）この図は、荒川水系和田吉野川流域の県管理区間について、水防法の規定により定められた浸水継続時間を表示した図面です。なお、2（3）に示す区間については、解析精度を一定程度確保したシミュレーションにより作成しています。

（2）この図は、作成時点の和田吉野川流域の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により和田吉野川流域が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　埼玉県県土整備部河川砂防課

（2）公表年月日　令和２年５月２６日

（3）対象となる河川

・荒川水系和田吉野川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで

・荒川水系和田川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字板井字山之神987番地先から和田吉野川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字板井字下田7番地先から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系九頭龍川（実施区間）
　左岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで
　右岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系通殿川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字中曽根字北町121番地先から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字小泉字前方80番の2地先から荒川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　和田吉野川流域の２日間総雨量８７０ｍｍ

（5）関係市区町村　熊谷市、東松山市、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町

（6）その他計算条件等

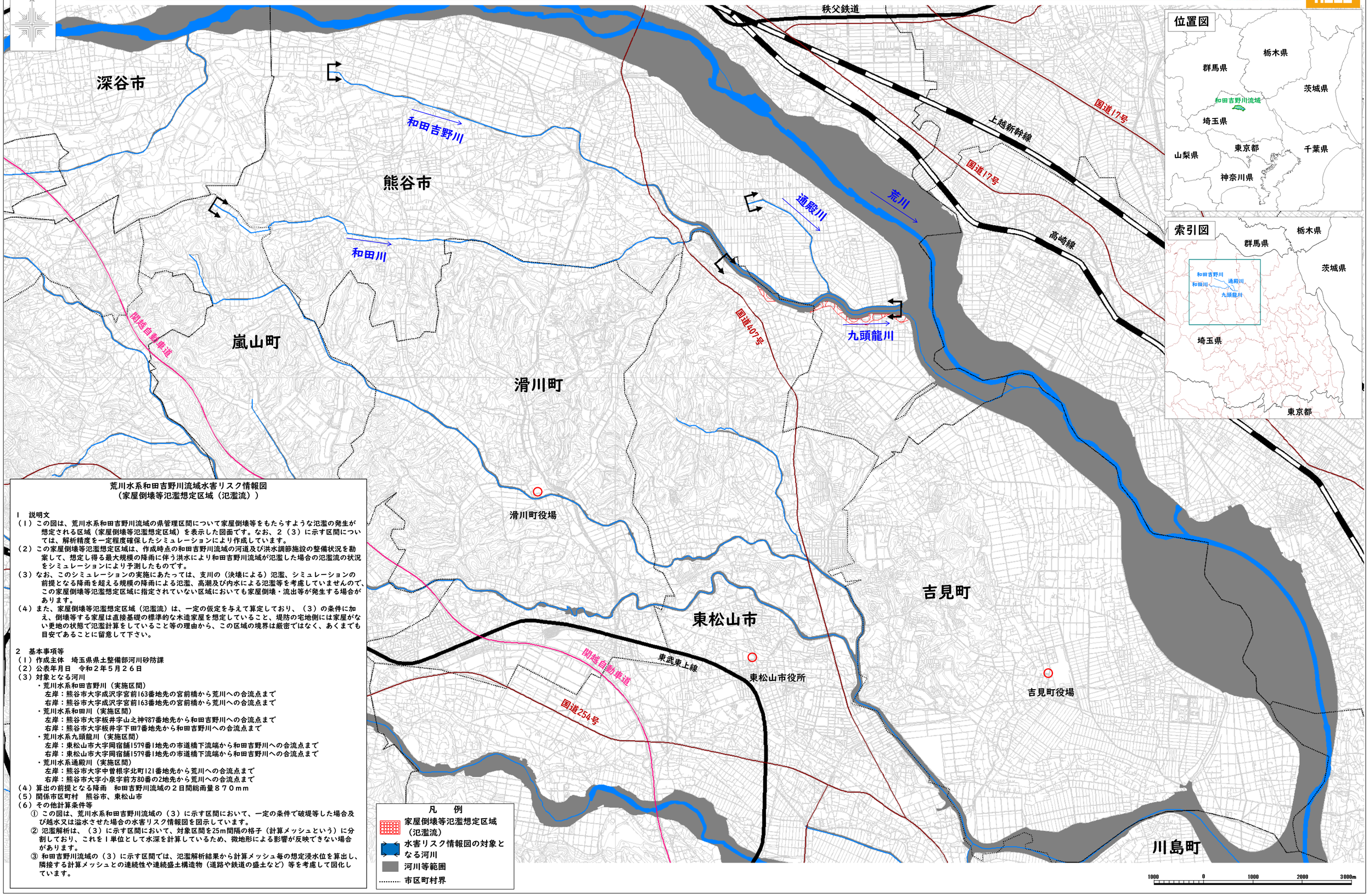
① この図は、荒川水系和田吉野川流域の（3）に示す区間において、一定の条件で破堤等した場合及び越水又は溢水させた場合の水害リスク情報図を図示しています。

② 氾濫解析は、（3）に示す区間において、対象区間を25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割しており、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 和田吉野川流域の（3）に示す区間では、氾濫解析結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 60）

荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））



荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図
（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））

1　説明文

（１）この図は、荒川水系和田吉野川流域の県管理区間について家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。なお、２（３）に示す区間については、解析精度を一定程度確保したシミュレーションにより作成しています。

（２）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、作成時点の和田吉野川流域の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により和田吉野川流域が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

（４）また、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）は、一定の仮定を与えて算定しており、（３）の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2　基本事項等

（１）作成主体　埼玉県県土整備部河川砂防課

（２）公表年月日　令和２年５月２６日

（３）対象となる河川

・荒川水系和田吉野川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで

・荒川水系和田川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字板井字山之神987番地先から和田吉野川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字板井字下田7番地先から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系九頭龍川（実施区間）
　左岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで
　右岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系通殿川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字中曽根字北町121番地先から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字小泉字前方80番の2地先から荒川への合流点まで

（４）算出の前提となる降雨　和田吉野川流域の２日間総雨量８７０ｍｍ

（５）関係市区町村　熊谷市、東松山市

（６）その他計算条件等

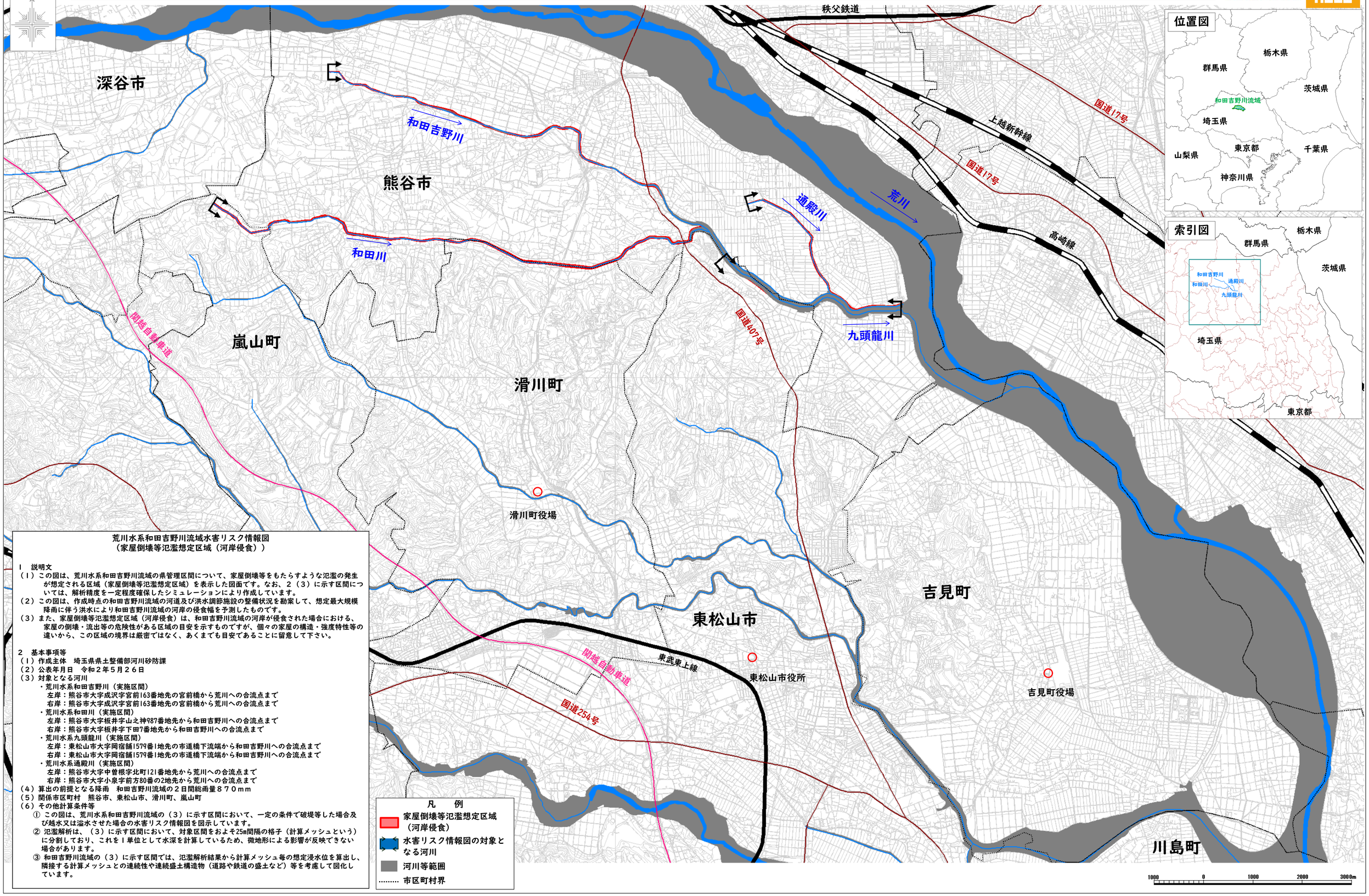
① この図は、荒川水系和田吉野川流域の（３）に示す区間において、一定の条件で破堤等した場合及び越水又は溢水させた場合の水害リスク情報図を図示しています。

② 氾濫解析は、（３）に示す区間において、対象区間を25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割しており、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 和田吉野川流域の（３）に示す区間では、氾濫解析結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 60）

荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食））



荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図
（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食））

1　説明文

（１）この図は、荒川水系和田吉野川流域の県管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。なお、２（３）に示す区間については、解析精度を一定程度確保したシミュレーションにより作成しています。

（２）この図は、作成時点の和田吉野川流域の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により和田吉野川流域の河岸の侵食幅を予測したものです。

（３）また、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）は、和田吉野川流域の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2　基本事項等

（１）作成主体　埼玉県県土整備部河川砂防課

（２）公表年月日　令和２年５月２６日

（３）対象となる河川

・荒川水系和田吉野川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで

・荒川水系和田川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字板井字山之神987番地先から和田吉野川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字板井字下田7番地先から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系九頭龍川（実施区間）
　左岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで
　右岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系通殿川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字中曽根字北町121番地先から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字小泉字前方80番の2地先から荒川への合流点まで

（４）算出の前提となる降雨　和田吉野川流域の２日間総雨量８７０ｍｍ

（５）関係市区町村　熊谷市、東松山市、滑川町、嵐山町

（６）その他計算条件等

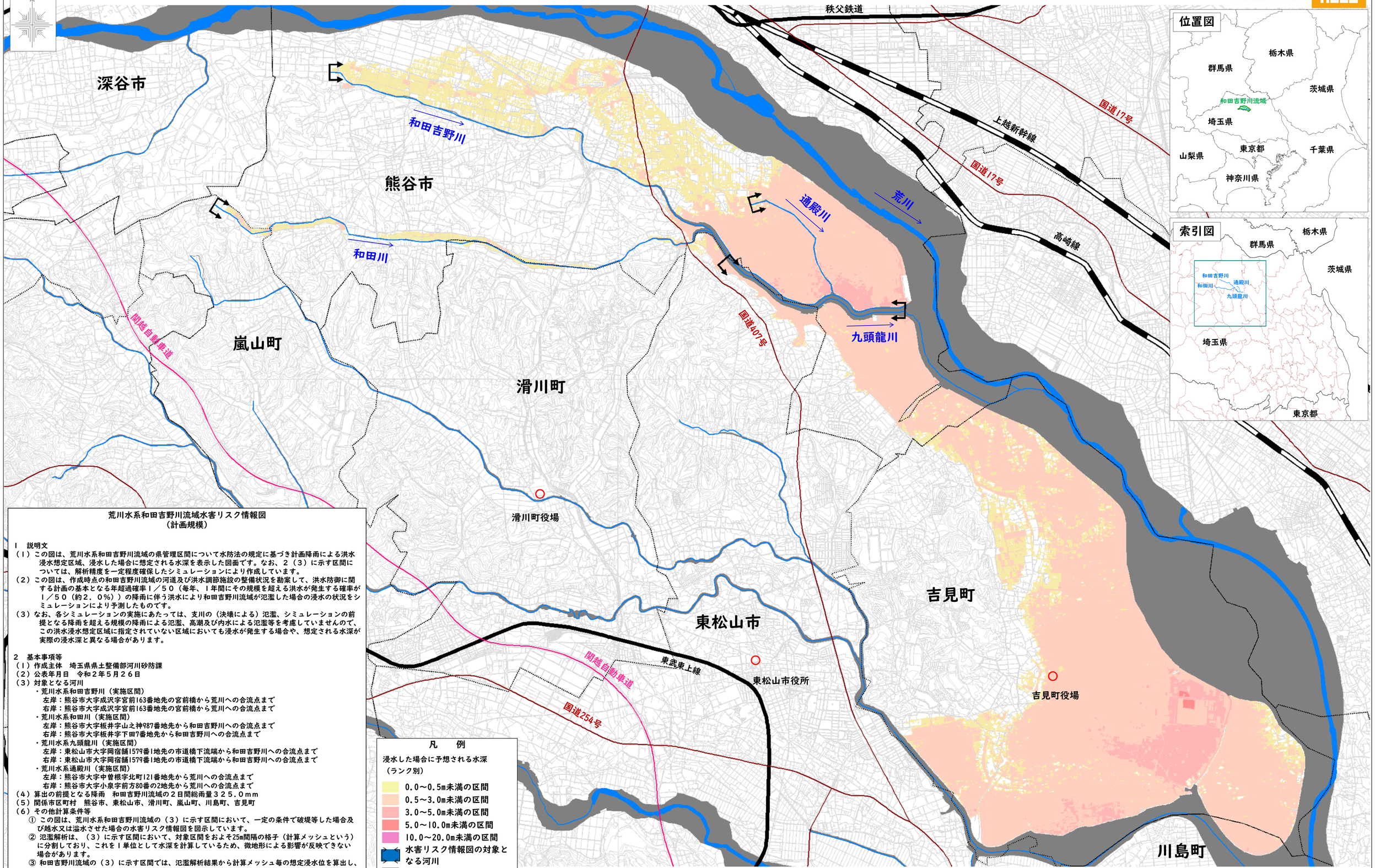
① この図は、荒川水系和田吉野川流域の（３）に示す区間において、一定の条件で破堤等した場合及び越水又は溢水させた場合の水害リスク情報図を図示しています。

② 氾濫解析は、（３）に示す区間において、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割しており、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 和田吉野川流域の（３）に示す区間では、氾濫解析結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 60）

荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図（計画規模）



荒川水系和田吉野川流域水害リスク情報図
（計画規模）

1　説明文

（1）この図は、荒川水系和田吉野川流域の県管理区間について水防法の規定に基づき計画降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、2（3）に示す区間については、解析精度を一定程度確保したシミュレーションにより作成しています。

（2）この図は、作成時点の和田吉野川流域の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1／50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50（約2．0%））の降雨に伴う洪水により和田吉野川流域が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　埼玉県県土整備部河川砂防課

（2）公表年月日　令和2年5月26日

（3）対象となる河川

・荒川水系和田吉野川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字成沢字宮前163番地先の宮前橋から荒川への合流点まで

・荒川水系和田川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字板井字山之神987番地先から和田吉野川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字板井字下田7番地先から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系九頭龍川（実施区間）
　左岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで
　右岸：東松山市大字岡宿舗1579番1地先の市道橋下流端から和田吉野川への合流点まで

・荒川水系通殿川（実施区間）
　左岸：熊谷市大字中曽根字北町121番地先から荒川への合流点まで
　右岸：熊谷市大字小泉字前方80番の2地先から荒川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　和田吉野川流域の2日間総雨量325.0mm

（5）関係市区町村　熊谷市、東松山市、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町

（6）その他計算条件等

① この図は、荒川水系和田吉野川流域の（3）に示す区間において、一定の条件で破堤等した場合及び越水又は溢水させた場合の水害リスク情報図を図示しています。

② 氾濫解析は、（3）に示す区間において、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割しており、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 和田吉野川流域の（3）に示す区間では、氾濫解析結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 60）